

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 42413 単位数 : 4

科目名	政治学原論	科目責任者	土井 美徳
課題と試験担当教員			
履修方法	F スクーリング学習・テキスト学習どちらでも可		
ナンバリング	CECON299		

■ 科目概要

政治について語ることは、誰でもできます。しかし、政治をきちんと見ることは、容易なことではありません。政治を一定の立場から独善的にもしくは感情的に捉えて歪曲化してしまったり、あるいは専門家など他者の政治的見解をうのみにして自らの意見としたりすることが、普通一般に見られます。そこで、当授業では、政治的現実を正確に捉えるにはどうすれば良いのか、またその現実をどのようなものさしを使って、どのように分析し、評価すれば良いのかについて論じたいと思います。

〈スクーリング学習で修得する場合〉

メディア授業で基本的な知識を抑え、面接授業に参加して下さい。

〈テキスト学習で修得する場合〉

各テーマごとに勉強して政治学原論の基本的知識を修得して下さい。

■ 到達目標

自らの頭で政治をしっかり考え、政治を客観的かつトータルに認識できる力を身につけることができるようになることを目標にします。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第5章第1節	政治的現実を認識する際の注意点(1) 権力の分析をもとに、大衆操作という観点から展開します。
第13章第3節	政治的現実を認識する際の注意点(2) 政治意識の形成過程をもとに、先入見という観点から展開します。
第3章第1・3節	デモクラシーと代表制(1) 政治の最も重要な概念であるデモクラシーについて論じます。
第3章第1・3節	デモクラシーと代表制(2) (1)の続きの後、現実の政治形態である代表制について論じます。
第12章第6節	デモクラシーと代表制(3) (2)の続きの後、デモクラシーの観点から日本の政治を分析します。
第14章	メディア授業の理解確認のための小テストを実施します。 選挙の機能と選挙制度について論じます。
第14章	デモクラシーの観点から選挙制度を分析します。
第9章第2・6節	政党の機能と政党制について論じます。
第9章第5節	寡頭制的政党が現代政治に及ぼしている影響について論じます。
第11章第4節	デモクラシーの観点から官僚制について論じます。
第10章第3節	圧力団体の発生理由と意義について論じます。
第10章第8節	圧力団体の課題について論じます。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第6章第2節	公共政策の形成過程について論じます。
第18章第3節	現代の国際政治について論じます。
第2章	主権概念の二重性 主権概念の法的側面と政治的側面について
第7章第1節	議会政治の意義について
第7章第3節	日本の議会の構成と機能について
第8章第1節	連合政治の意味について
第8章第2節	連合政権の理論について
—	レポート作成
第11章第1～3節	官僚制とは何かについて
第12章第1～3節	世論の概念と意義について
第12章第6節	世論が政策過程に及ぼす影響について
第15章第1節	2つの市民参加論について
第15章第3節	市民参加とデモクラシーについて
第16章第1節	オンブズマンの役割について
第17章第1節	地方政治の意義について
第17章第6節	二元代表制の意味と実態について
—	レポート作成

■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークは行いません。

■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目に小テストがあります。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	政治の構成原理・要素に関する理解を問います
レポート	課題のポイントをしっかり押さえ、手際よくまとめて下さい。

■ 評価方法

- 試験（スクーリング試験および科目試験）：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：政治学原論
著者名：宮下・藤岡
出版社名：創大通信教育部
出版年：平18.4
版：改訂版
刷：
ISBN：

■ 参考書

学習の手引きに参考文献を挙げています。

■ 履修上のアドバイス

政治の基本原理であるデモクラシーの観点から選挙や政党・市民参加などの各項目を分析し考察すると良いでしょう。

■ 自習時間

〈スクーリング学習の場合〉

スクーリングの前にDVDで7時間30分、レポート作成に15時間の勉強を最低限して下さい。

〈テキスト学習の場合〉

レポート作成に最低でも30時間は学習して下さい。さらに科目試験のために少なくとも10時間は勉強して下さい。

■ 担当者のプロフィール

■ 土井美德

①〈生年〉1964年 ②〈出身地〉兵庫県 ③〈出身大学〉創価大学・早稲田大学大学院（修士・博士課程）、政治学博士 ④〈所属〉法学部 ⑤〈専門分野〉近現代ヨーロッパの政治、EU統合、現代政治理論、立憲主義、民主主義と公共政策の形成過程 ⑥〈主な担当科目〉公共政策論Ⅰ、日本政治史、西洋政治史、特殊講義（公共政策ワークショップ） ⑦〈主な著書等〉『イギリス立憲政治の源流』（単著）、『政治学の世界』（共著）、『「ヨーロッパ」の歴史的再検討』（共著）、デヴィッド・ヘルド『デモクラシーと世界秩序—地球市民の政治学』（共訳）、シャンタル・ムフ『政治的なるものの再興』（共訳）、ユルゲン・コッカ『社会史とは何か—その方法と軌跡』（共訳）、ほか ⑧〈趣味〉子どもと遊ぶこと。

■ 藤岡祐次郎

教科書の著者紹介をご覧ください。